

令和3年8月13日（投げ込み日）

雲 仙 市

担当課	健康福祉部健康づくり課
担当者	課長 本田 理恵
電 話	0957-36-2500
F A X	0957-36-8900

「新型コロナウイルスワクチンの廃棄」について

標記の件につきまして、集団接種会場において使用予定であった新型コロナウイルスワクチンの希釈作業の中で、適正量でないワクチンを生成した可能性があったため、8月8日および12日の2日間で計24バイアル（144人分）を廃棄しましたことをご報告します。

廃棄の経過や今後の対応などは下記のとおりです。

記

1. 経過について

- 8月8日（日）、南串山保健福祉センター（南串山町）の集団接種会場において、ワクチンを生理的食塩水で希釈していた看護師が、希釈済みのワクチン1バイアルに誤って、再び生理的食塩水を注入。途中で気付いたが、ワクチン濃度が規定外になったと思われるため、1バイアル（6人分）を廃棄した。
- 8月12日（木）、吾妻町ふるさと会館（吾妻町）の集団接種会場で、ワクチン25バイアルと生理的食塩水25本の希釈作業に看護師があたっていた際、23バイアルの希釈を終えたところで残りの本数が2バイアルに対し生理的食塩水1本しか余っていなかった。希釈した23バイアルのうち、1バイアルに生理的食塩水を2回注入した可能性が高いと考えられたが、どの段階で発生したのか不明であり、過剰に希釈したバイアルだけを判別することが困難なため、23バイアル（138人分）を廃棄した。同日の接種については予備のバイアルで対応し、予定通り実施した。
※常時の充填作業は2人1組で行っています。

2. 再発防止について、以下のとおり徹底しました。

- 1) 看護師の充填作業の開始前に、充填作業の流れの確認を行う。（バイアルの取り扱い等を含む）
- 2) 2名での確認作業は従来通りで、使用済みバイアルの取り扱いについても2名で確認することを徹底する。

このたびは、貴重なワクチンを廃棄する事態となり、市民の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。チェック作業を強化し、再発防止策に努めてまいります。